

品川支部

令和七年九月1日発行

〒141-0022

品川区東五反田1-8-5

TEL 3442-7075

9月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

百四十年祭間近の 布教推進月間へ

いよいよ百四十年祭におけ、最後の布教推進月間に突入
最後の三日間で特に二十八日は全教一斉にをいがけデイの中でも
全国四十七教区五百六十支部で一斉に駅前等で路傍講演が行
われ大教会長様をはじめ多くの方が参加いたします

まだ、年祭のご用が足りていないなど感じている方 歴史ある品川で
是非ご一緒いたしましょう 講演はしなくても、仲間でその場にいる
だけでみんなの励みにもなります

品川支部は、三カ所の会場(四ページ参照)で行いますので都合の
良い会場でお待ちしています



日本で最初の鉄道 当時の品川

高輪ゲートウェイ前の開発で当時の
遺構 高輪築堤がそのまま発掘され
一部展示されています

近代歴史の品川

☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会
九月九日(月) 午後六時
場所 都南分教会
- ・支部例会
九月三十日本大崎分教会会場
詳細は二頁にて紹介
- ・教区ひのきしん
今月五日・十七日は本品組が当番に
当たっています宜しくお願い致します
- 「みんなでひのきしん」の活動
- ・神名流し
九月一日大井町駅前
終了後清掃ひのきしん
- ・在宅介護センターひのきしん
九月二十九日大井在宅介護センター
九時半開始 終了後お茶タイム
- ・第九十九回青年会総会
青年総会は十月二十五日午後一時本部中庭で
執り行われます百四十年祭前の今年のテーマは
「たすかり」で六月から所属分会に置かれていま
す「おたすけ願」の用紙に助かって頂きました内容や
自分が出来ることをペンで書いて分会に保管して
頂き、総会当日の回収箱に入れて頂きます
式典後、青年会長様を芯に願いに對しての
「お願いつとめ」をさせて頂くとのことです
尚、今回は前夜祭等のイベントはありません

☆全教一斉にをいがけデー

- 二十八日から三十日のひのきしん
デー内容確認
実施要領
- 二十八日(日) 午前十時
(参加教会別集合)
- 五反田駅東口、駅前交番前
日本橋大、日徳實、本大崎、
本品川、櫻京、三ツ木、本早川
- 東急大井町駅前、改札を出た歩道
(線路沿い、イトーヨーカドー側)
都南、南泰、神品川、豊英
- JR西大井駅前
本荏大、水豊田、鶴平、佐東、
本品大平町、呉武、錦平
- 集合後、よろづよ八首奉唱
その後は、各自、戸別訪問、リーフ
レット配り、ポストイングしながら帰宅
- 二十九日(月)
所属教会、またはお近くの教会にて
をいがけ活動願います
- 三十日(火) 午前十一時支部例会
本大崎分教会
- 例会終了後(十二時半頃)、各自、戸別
訪問、リーフレット配り、ポストイング

拠点教会	3日号	10日号	17日号	24日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
本荏	直送	手配り	手配り	手配り
都南	直送	手配り	手配り	手配り
三ツ木	直送	直送	手配り	直送
水豊田	手配り	手配り	手配り	直送

時報手配り九月予定

品川支部例会

令和七年9月30日 (火) 11時開始

場所 本大崎分教会

(品川区大崎三丁目17-3)

内容 おつとめよろづよ八首 九下り目 東京教区、支部連絡事項 当該教会長三輪先生 挨拶 昼食の用意頂いてます

*参列はどなたでも (白足袋ハッピー着用)



やまいではない
月日ではない



五月十二日の朝、起きたら右・顔面神経麻痺を発症していた。

口に含んだ水が右端から漏れる 歯医者さんで麻酔を打たれた時の様に唇が痺れている鏡に映る顔は右半分がでれーと下がっている 瞬きは出来るが右目だけを閉じることは出来ない...などと書き出すと沢山あり過ぎるので一言で書く「顔の右半分が自分の物で無くなっていた」

「こりゃあ大変だー」と不安を抱えながらネットを検索しているのは今日十二日は月次祭の前日準備、明日は月次祭当日。明後日は後片付けとお下がりを届けにあっちこっち行かねばならない 昼間に医療機関に行ける様な時間は当分ないので、空いた少しの時間を使ってネットで情報を得るしかないのだ

結果分かったことは自分の症状は何らかのウィルスの活性化によって右顔面の末梢神経が切断された結果麻痺しているもので、脳梗塞に依る麻痺では無いとわかった

そして神経網が回復するのをゆっくりと静かに待つことがベストで、針きゅうなどで刺激を与えたりマッサージをするなどは、繋がらうとしている神経をまた切断しかねない事など対処の心構えを知り少し落ち着いた

「ネットは有難い」 さて教祖の教えを信仰する者としては、身上に障りを戴いたのだから親神様の「ご意見」は一切何だろうと思案しなければならぬのだが。自分の場合、心当たりが沢山有り過ぎる

上級教会に毎朝、朝参りをしているの、朝勤め後に会長さんに「おさづけ」をお願いしたところ、この身上の障りは自分のせいでと思う、と御自身の懺悔をして頭を下げられた その内容をここに記す事は憚られるが親神様の「ご意見」を推し量る上でこの事は大変有難いヒントになった

そしてある日「心が曲がっている」と言う「ご意見」なのかなと浮かんだ

例えば別席団参のお打ち出しがあった時、十年前は、私達を勇ませようとの親心からだと感激し「一人でも多くの人を別席場にお連れしたい！」親の心に答えたいと素直に受け止めたし、このお打ち出しを有難いと喜んだ。

今回は最初に浮かんだのは「えー」という不足の言葉だったこれは大変申し訳ない事だったと思つてます。十年の間に随分とひねた曲がった心で過して自に今更ながら気付かして頂いたと親神様に御礼申し上げます。

もう一つは、笑うと曲がった顔がまっすぐな普通の顔になる事に気付いた。笑顔で挨拶が、出来ないなあと思い、親神様の「ご意見」は取り合えずこの二つだろうと言うことにして有難うございます以後気を付けますと御礼申し上げます。(以上未熟者の悟りです) そして九月は全教会布教推進月間であります

大教会でも支部でも色々な実働日が設定されています

また秋の御霊祭などもありまして何かと忙しい月ですがそんな中、大教会より「ひのきしん」の声を戴きまして打合せの段階から「有難いな」と、ウキウキしています ひのきしんをさせて頂きますと身体が軽くなるのか、眠りが深くなったりとか色々なご守護を頂けるのでたまたまはその準備を整えつつ始まるのを心待ちしています

教祖百四十年祭当日を喜び心で迎えられますように、未熟者は未熟者なりに成人を、高みを目指して一歩一歩、歩めたらと思案しつつ過ごさせて頂いております

駄文をお読み下さいまして有難うございました

本大崎分教会長 三輪元治